〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

胚移植説明書

培養した胚を子宮内に戻す操作を、胚移植と呼びます。通常、専用のカテーテルを用いて、経腟的に胚移植を実施します。以下で胚移植につき説明いたします。別紙パンフレットもご確認いただき、必ず口欄にチェックをお願いいたします。ご不明な点や質問事項がありましたら、診察の際に医師までご確認ください。

- 子宮内操作を行うため、出血、子宮内感染、腹腔内感染、子宮穿孔などの臓器損傷を起こすことがあります。
- カテーテルが頸管を通過せず、経腟的に胚移植が実施できない場合があります。そのような場合、専用の穿刺針とカテーテルを用いて、子宮を貫いて胚移植を行うこと（経筋層的内膜到達法）があります。この場合、移植後に出血や感染症、臓器損傷を起こすことがあります。
- 移植胚は原則として 1 個となります。胚の状態や治療歴を考慮し、2 個以上の移植を行うことがありますが、多胎妊娠となり周産期リスクが上昇する可能性があります。
- 体外受精でも異所性妊娠（子宮外妊娠）となる場合があります。この場合、入院し、投薬治療や外科的治療が必要になる場合があります。
- 保険診療での胚移植は、39 歳以下の方は 6 回まで、40 歳以上 43 歳未満の方は 3 回まで可能です。それ以上の移植を行う場合は、自費診療となります。
- 胚移植の料金は保険診療で定められた通りですが、移植方法などにより支払額が異なります。
- 胚移植同意書は、胚移植当日に必ず持参してください。持参のない場合は、胚移植を実施できないことがあります。

施設責任者　　西川吉伸